

西行法師

終るべき道程を定めしむる
其三月のりし月のより

此双林寺の庵室をいふ所と傳へあり
文治六年二月十六日入滅圓位上人を号す

慈鎮和尚いふ所よりありて

其やちが其三月と云ふ所

あともいふ人より後記せ

此阿法師草庵集に

西行上人の行状を記しと云ふ庵集にあり

何とあるところを世に記すはあり

其二月のりし月のより

手判宣義頼入道性照法師

此界のりし道程と云ふ双林寺に山庄の
りし月よりありて

古里此のりし月よりありて
ありし月よりありて